

平成29年度第1回にぎわい・きずな部会

1 開催日時 平成29年6月21日（水） 10時から11時24分まで

2 開催場所 東成区役所 3階301会議室

3 出席者の氏名

【委員】

松山 正樹（議長）、中野 壽夫（副議長）、市田 稔子、梅本 千代子、岡本 秀男、北岸 佳子、栗巢 和子、桑田 泰彦、新家 裕子

【東成区役所】

麻野 篤（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課長）、中須賀 孝（総合企画担当課長）、原 敏浩（市民協働課長）、大野 聡（まちづくり担当課長）、植田 浩史（市民協働課長代理）、唐谷 栄起（まちづくり・にぎわい創造担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

平成28年度東成区運営方針の振り返り及び平成29年度の事業等について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○中須賀課長 皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議にぎわい・きずな部会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

私は、進行を務めさせていただきます東成区役所総合企画担当課長の中須賀でございます。よろしくお願いいたします。

まず、本日の開催状況でございますが、委員16名中9名のご出席をいただいておりますため、本部会は有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

次に、本部会の公開についてですけれども、区政会議に準じて公開となっております。議事録や写真等についても、ホームページで公開していく予定でございます。その点、ご理解のほどよろしくお願いたします。

もう一点お願いでございますが、携帯電話につきまして、電源をお切りいただきますか、マナーモードにしていただきますようお願い申し上げます。

それでは、事前にお送りしました資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料としまして、平成29年度第1回東成区区政会議にぎわい・きずな部会、この分厚い70ページものの資料と追加資料といたしまして、本日机前にお配りさせていただきます。たくさんありますので順に確認をしたいと思います。

まず、配席図、「ひがしなりだより」の今年の7月号、東成区災害時協力企業等の登録について（依頼）とあるコピー。それと、「ひがしなりだより」の1月号大震災の関係のある部分です。それと、東成まちづくり交流会というA4、1枚もの。それと、私たちのまちづくりというA3版を折ったものでございます。東成区まちづくりセンター、東成区まちづくり交流会、「ひがしなり街道玉手箱2017」開催のお知らせ。以上、不足の方はいらっしゃいませんか。

それでは最初に、区長の麻野よりご挨拶をさせていただきます。

○麻野区長　皆様、こんにちは。区長の麻野です。よろしくお願いいたします。着席でお話させていただきたいと思っております。

本日はお忙しい中、平成29年度第1回区政会議にぎわい・きずな部会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

今日も朝方、警報が出ておりましたけれども注意報に変わりまして、一安心しているところでございます。

にぎわい・きずな部会で防災についてもご議論いただくとありますが引き続き、皆

様のご協力をいただきながら進めてまいりたいと思っております。

今般、当区役所におきましては、平成28年度運営方針の振り返りを行っております。今日の部会ではその結果のご報告とあわせて、今年度の主な取組みをご説明させていただきたいと思っております。そして、それに関しまして皆様方のご意見をいただきたいと思っております。部会からいただきました、ご意見やご提案につきましては、今後の施策や事業に活かしてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今日は、にぎわい・きずな部会ということで防犯防災、それから地域のコミュニティ形成とか、こういったことをテーマとした議論をしていただくことになるんですけども、特に東成はモノづくりのまちでございまして、区民の方、住民の方以外にも企業、事業者あるいは東成に根づいて経済面から東成を支えていただいている皆さんが多数いらっしゃいます。こういった企業、あるいは事業者の皆さん、それから従業員の皆さん等々にもいろいろコミュニティづくりに重要な役割を果たしていただきたいというふうに考えておきまして、企業連携や企業さんのCSRとかCSVとか言いますけれども社会活動といったものの支援、枠組みも考えていきたいなというふうに思っております。

今日はこの点につきましても、皆様のご意見を賜れたらと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、活発なご議論を、どうぞよろしくお願いいたします。

○中須賀課長　それでは、松山部会議長並びに中野副議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○松山議長　皆さん、おはようございます。

本日は早朝より、また雨の中をご出席いただきましてありがとうございます。本日は新年度第1回目のにぎわい・きずな部会ということでございます。中野会長とともに、議事進行をしてまいりたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

先ほどは区長からもございましたように、議題の1といたしまして平成28年度の東成区運営方針の振り返り、そして平成29年度の事業等についてということでございます。

また、議題2といたしましてその他を予定いたしております。

議題1につきましては、区役所より振り返りと29年度の事業等を続けて説明していただいた後で、委員の皆さんのご意見をお聞きしてまいりたいと思っております。その後、議題2その他に移らせていただきます。

短い時間でできるだけ多くの委員の皆さん方にご意見をお聞きしたいと思っております。円滑な進行にご協力のほどお願いいたします。

また、前向きなご意見をいただき、実りある有意義な部会にしていきたいと思っておりますので、どうかよろしくをお願いいたします。

それでは、区役所より説明をできるだけ簡潔にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○中須賀課長　それでは、最初にお配りしております70ページの資料の見方について、説明をさせていただきます。

表紙の次第に記載しておりますが、今回の議題1は28年度の運営方針の振り返り、それと29年度の事業等についてであります。

3ページを開けていただきまして、3ページの上段に記載しておりますように、「運営方針とは」という囲みがありますけれども、市政改革プランなど全市的な方針を踏まえまして、東成区で行う施策の全体像を示す方針として毎年度作成しているもので、さまざまな課題解決のための施策や具体的取組をしているものでございます。東成区では28年度につきましては、その下に記載しております5つの課題について、重点的に取り組んできたところです。

参考に関連する部会ということで、このにぎわい・きずな部会に関連しますのは、課題の1「安全で安心なまちづくり」この本体の資料で申し上げますと、資料の5ペ

ージから6ページに記載しております。それと課題の4「まちの魅力向上」この資料では13ページから15ページに記載しております。この課題1と課題4について後ほど、担当の課長から説明させていただきます。

4ページを開けていただきまして、この資料の見方の説明をしております。28年度と29年度の東成区運営方針から要点部分を抜き取りまして、見やすくわかりやすくという観点で編集をしたつもりでございます。この資料の19ページから45ページが、この大阪市の様式の28年度運営方針。続いて47ページから最終70ページまでが29年度の運営方針となっております。

戻っていただきまして、4ページの上の部分「区政会議資料と運営方針と対比例」として、区政会議資料5ページに記載の部分を例に取りまして28年度と29年度の本体の運営方針のどこから抜粋しているかということを示しております。

課題1の「安全で安心なまちづくり」で4ページの下半分のところ、「参考資料1、P24」とありますのは、24ページの方から要点を抜粋しているということを示しております。抜粋している部分を太く囲みまして、上の方へ矢印この部分というふうにしてしております。

同様に4ページ中央に、29年度主な取組内容、「参考資料2」の50ページ参照とありますが、そこには概要を示してございまして、この詳細については50ページに記載しておりますということで表記しております。業績目標ですとか、具体的取組の実績、29年度の主な取組内容など詳しく記載されている部分を確認されたい場合はこの参考資料の1、あるいは2の何ページと表記しておりますところを、その該当のページをご覧いただければと思います。資料の見方については以上でございます。

続いて、それぞれの課題につきまして、担当の課長から説明をさせていただきます。

○原課長 市民協働課、原でございます。よろしく願いいたします。

それでは5ページをご覧ください。5ページの上の課題1「安全で安心なまちづくり」、そこの具体的取組1-1-1、防災対策の支援です。

28年度の達成状況でございます。業績目標は地区防災計画を策定し、避難所運営訓練などの地域実態を踏まえた防災訓練を実施している地域ということで、目標が6地域、実績も6地域でした。具体的には地域の災害対策本部を立ち上げての訓練、それから避難所の運営訓練として避難民に対する物資の配付のシミュレーション訓練、それから実際に避難者を学校で受け入れる訓練など、それぞれの地域が工夫されながら避難所運営訓練などを実際やってこられたところでございます。

「具体的取組」ですが、そこで広報紙で防災特集号による広報、これもまた後でご覧いただけたらいいと思いますが、先ほど資料の説明がありましたように、今年の1月に「大震災に備えて」ということで防災の特集を発行しております。

あとそれから、もう一つその下に「学校園に対する防災カリキュラム策定支援及び、防災教育への支援、11回」とございますけれども、特に中学校でこの1年間力を入れて行ってきました。それぞれの中学校と協議しながら内容を検討してきましたが、特にHUGと申しまして避難所運営ゲームというカードゲームのようなものですが、中学生の方々に中学校が避難所になった場合を想定して、実際に避難者の受け入れで起こるさまざまな課題について、どのような対応を取るのかというのを考えていただくゲームですが、そういうことを学んでいただくことによって、実際に震災などが起きた場合に中学生が避難所の運営に積極的にかかわっていただけるということを期待して行ってきたところでございます。

次、29年度の主な取組みですが、ここでは災害時の協力企業の登録制度を記載しておりますが、これにつきましては後の議題2の方で改めて説明させていただきます。

次に具体的取組1-2-1、防犯についてです。28年度の業績目標は、「区役所が地域や警察等と連携して取り組む防犯活動を知っている区民の割合」ということで、目標50%以上で、実績については75%でした。この75%は、昨年11月に行いました区民アンケートです。無作為抽出で1,500名の方にアンケートを行いまして、地域で

行っている見守り隊であるとか、青色防犯パトロールカーの巡回などについてご存知ですかということで質問したところ、75%の方が知っているという回答でございました。

その下の具体的取組ですけれども、あんパトによる地域巡回でありますとか、ミニフェスタなどを行ってきました。

小学校での防犯教室26回であります。これはここ何年来続けておるものですが、主に3年生を対象にして小学校で子どもたちが犯罪に巻き込まれない。また、犯罪に巻き込まれそうになった時の対処の仕方などについて防犯教室を実施したところでございます。

それから、一番下の「防犯カメラの設置11台」ですけれども、この11台は東成区役所の予算として11台を設置しました。設置箇所は各小学校です。11小学校に1台ずつ11台設置しました。これとは別に、市全体の取組みとして、市の予算で公園に10台設置してきたところでございます。

次に29年度、今年度については、特に防犯カメラですけれども12台設置する方向で各地域の皆さんから、設置場所などの検討協議をしているところでございます。

13ページをご覧ください。課題4「まちの魅力向上」です。具体的取組4-1-1、「地域活動協議会に対する支援」業績目標につきましては、「地活協による地域運営のあり方に満足している区民の割合」ということで、目標が60%以上でございましたが、実績は71%です。

これも先ほどのアンケートと同じ区民アンケート。無作為抽出1,500名による区民アンケートで、今年の29年2月に実施いたしました。地活協による地域特性に応じた魅力ある活動が行われていることは良いことだと思いますかということで、「良いことだと思う」という回答が71%あった次第でございます。

具体的取組については、特にその中で力を入れているのは「勉強会・交流会の開催13回」というところで、これにつきましてもあとの議題2の方で、資料を含めてご説

明させていただきます。

それから広報紙への地域情報の掲載13回で、毎月の「ひがしなりだより」の最終面に、地域のさまざまな取組みを掲載しているところであります。ともに、去年は7月号で地活協の特集号を組みまして、4ページものとしてこういうふうに関地域の活動を紹介させていただきました。また今年もこのような地活協の特集号を予定しております、今年の8月号で特集号を発行する予定で今取材をしているところでございます。

○大野課長　まちづくり担当課長の大野でございます。どうぞよろしくお願い致します。

私の方から、同じく13ページの具体的取組4-2-1、「多様な協働による地域活動の活性化」についてご説明させていただきます。

暗越奈良街道をテーマにいたしましたイベント、ひがしなり街道玉手箱の開催を通じまして、広域多様な市民同士のネットワークの形成を図るとともに、東成のブランドイベントとなるよう支援を行う事業でございます。

具体的な取組みといたしまして、運営事務局の会議の開催はもとより参加団体の交流会6回、ポスターなどの広報物の作成、そして昨年度は11月3日から6日の4日間で行ってまいりましたが、ひがしなり街道玉手箱イベントを開催してまいりました。

業績目標といたしまして、企業様などからの協賛に加えまして、タマテバコタウン会員という個人会員の合計150会員を目標としておりましたところ、119会員にとどまりまして業績目標としては未達成としておるところでございます。

改善策といたしまして、多様な活動主体がひがしなり街道玉手箱を通して、地域とつながることができるよう、参加団体の交流会などの支援をより進めていくこととしております。

14ページには、「平成29年度の主な取組内容」を記載してございますが、東成区の地域資源を活用し多様な活動主体と地域がつながるひがしなり街道玉手箱の開催に協力し、その広報・情報発信をしてまいります。

議題2の(2)その他のところで今年度の取組み状況につきましては改めて詳しく説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○原課長 続きます、具体的取組4-2-2です。市民活動団体等との協働による課題解決で28年度につきましては目標が1事業。協働型事業委託によって地域課題などの解決の手法が確立した事業数ということで、実績についても1事業でございました。

昨年度は、国際医療支援機構による、私たちのまち東成盛り上げたい事業というのを行いまして子育ての応援講座でありますとか、それからおもちゃづくりの講座などを行ってきたところでございます。

29年度ですけれども、今年度につきましても既に募集それから選定が終わっております。今年度は、事業者は東成ヒストリアルということで、区の歴史懇談会の皆様がこの事業をされることになりまして、事業については「わがまち東成勝手に五十三次事業」という名称で、東成区の名所であるとか、旧跡であるとかをかるたにして、子どもたちにかるた大会をしようという取組みでございます。そのことによって子どもたちがこの東成区をよく知っていただいて愛着を持っていただこうと、そういう趣旨での事業でございます。

次が具体的取組の4-2-3、ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業です。28年度の目標は、この補助金を活用する事業数が1事業で、実績についても1事業でございました。

これは100年長屋芸能ネットワークによる、「ひがしなり古典芸能サロン」というのが昨年は行われまして、狂言であるとか文学、能楽など古典芸能に区民の皆さんが親しむ機会を提供されたところでございます。

今年度も、既にこれも募集が終わっておりまして、引き続きこの事業を行っていく予定です。今年度は今里小学校のPTAの皆様に対して事業補助を行うことになりました。事業名は「コネクトストーリー発信プロジェクト」ということでPTAの皆さま

んが地域の地活協なり連合なりの役員の皆様と、いかに連携をしながら取組みが生まれてくるのかというようなところを記録映像に残して発信していこうと。こういう大変興味深い取組みでございます。

○大野課長　　続きまして、具体的取組の4－2－4、東成区の地域資源魅力発信事業でございますが、具体的な取組みといたしまして「わがまち工場見てみ隊」でありますとか「モノづくり体験フェスタ」を実施してまいりました。

東成区がモノづくりのまちであるということを知っている区民の割合50%以上を目標としておりましたところでございますけれども、50%の方に知っているとお答えいただきまして目標達成とさせていただきます。

平成29年度におきましてもこの特色であるモノづくりを通じて次世代を担う人材育成に取り組んでまいります。

続きまして、具体的取組4－2－5、区のにぎわい創出に向けた取組みの強化でございますが、区民との協働によるまち歩きとして深江探訪を実施してまいりましたところ、地域の特性について理解が深まったと感じる参加者の割合が100%となりまして、目標の60%以上を達成とさせていただきます。平成29年度といたしましてもまちの魅力等の地域資源を発掘し、にぎわいづくりにつなげてまいりたいと考えております。

運営方針につきましては以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○松山議長　　どうもありがとうございました。ただいま28年度の振り返り及び29年度の事業等について、ご説明をいただきました。安全で安心なまちづくり、またまちの魅力向上でございますけれども、今のお話についてどなたかご質問ございませんでしょうか。

○北岸委員　　「つながり」のところで見せていただいていたんですけど、モノづくりのところですけど、ここの裏にも書いておられますように企業さんがいろいろと協力されているというこの課題は今ここでよろしいんですね。

○松山議長 はい。

○北岸委員 その企業さんが協力されているということもありまして、地域としては企業さんが協力してもらって私たちと一緒に会社の中のモノづくりのところを交流するという事です。

北中道の場合だったらサクラクレパスという会社があるんですけど、私たちはラジオ体操したり、いろいろな形で発信して協力してもらっているんです。それは企業は地域では協力してもらっているけど、皆さんには発信されていないということで。うちは発明クラブというのが地活であるんですけど、その子どもがそういうことやっているのをそういう企業さん向けに学習していくということもいいんじゃないかと。つながりになるのかなとか思ったりするんです。このあいだちょっとお聞きしたんですけど、どこの地域になるかわからないんですけど、ドギーマンとかいうのがありますね。犬とか猫の餌。そういうところも。

○松山議長 あれは深江になるんですね。

○北岸委員 深江さんですか。うちのところには犬の散髪したり、美容師さんがある会社があるんですけどね。そこと連携して何か会場でやって、動物とか育てる子どものケアをすることも教えていただくという催しとかもあっていいかなとか思うんです。

発明なんか言うたら、子どもは今そんなにたくさんはいてないですけど、それを一つ会社なんかのいろんな提供とかで将来進めていかしていただければと思うんですけど。

○松山議長 北中道地域だけでなくて。

○北岸委員 そうです。全体で。

○松山議長 もっと東成全体に広報して。みんなですべて。

○北岸委員 企業さんとのタイアップをしながら地域が何かを協力していくということですね。一緒に進めていくという。簡単に言えば北中道やったら北中道だけでサクラクレパスとかそういう形であるんです。あるんですけど、これは地域でなしに全体

を含めて企業さんをお願いしないといけないと思うんですけど、そういうので。

○松山議長　　そうですね。モノづくり体験フェスタでは主導的な立場にあります工業会の会長でもあります、桑田さんにご意見をいただきたいと思っておりますけれども。よろしく申し上げます。東成区を引っ張って行っている工業会。いっぱい有名な会社がありますよね。

○桑田委員　　大きな会社がありまして、コクヨさんとかサクラさん、それからオルファさんとか、瓜生さんなんかちょっと特殊な形ですけども、結構有名な会社ですよ。ちょっと大き過ぎてお付き合いしにくい部分もあるんですけども。何かの会の時の記念品とか、そういうのにはお願いしたら大体協力していただいているのが現実かと思っております。

皆さん「郷土愛」という部分もありまして、本社機能はもう東京に行ったり、中国に行ったりいろいろ別のところに行っているんですけども、会社の登録は一応東成区に残していただいているというような部分もありまして。地域の活動にはかなり協力していただいているのが現実かなと思っております。

ですから、何かありましたら総務課とかそういうところにご相談に行かれたら、大体対応していただけると思っております。

ただ、ドギーマンさんはちょっと昔と今は形態が変わられたみたいで、詳しい話は私も存じ上げないんですけども。ドギーマンさんは工業会には入られていないかもしれないですね。

○市田委員　　事業系だけ残っているみたいでね、ドギーマンさん。前は学校もあったけどね。

○桑田委員　　前は、実際に美容の教室やいろんなことをやられてたみたいですけども、今はちょっと。ドギーマンさんとはおつき合いがないもので。

○北岸委員　　思い出したけど、パピー何とかというところが北中道の端の方にあるんです。

○岡本委員 専門学校ですね。

○松山議長 動物の。

○市田委員 病院と並列しているところ。

○北岸委員 病院じゃない。美容院はしてるかな。

そこと、ドギーマンさんとが同じような形で連携されて、何かの学習を、今は皆さん動物を可愛がっておられるんで、そういうので何かできないかと。

○桑田委員 その辺はどうですか、工場を見てみたりして、お話を一回していただいたらいいんじゃないですかね。

○松山議長 今、北岸さんからお話があったように、ちょっと連携が足りないと言はんかね。その工場を見てみたいというのもやられておられるというのはずっと聞いておまして、なかなか評判もいいとは聞いておるんですけど、もっと盛り上がってもいいというような感じはしているんですけどね。実際今日防犯の一番経験者というよりも、一番古株であります、その岡坂さんお休みですけれども。

実際、警察の方もお金がないというので、集まっていたらいろいろな物品を東成区にある会社からいただいて、もちろんクレパスからいろいろ子どもの物だったら石けんとかいろいろ入っているんですけども、そういうふうなものもいただいて入れているんですけども。単発的には行っているんですけども、工業会なんかで、もうちょっと横のつながりというのはどんなものでしょうかね。

○桑田委員 工業の方で商業の方とのつながりというのがほとんどないですね。だから、その辺をこれからだと。あるいは商工会議所さんとかその辺に相談するとか。どこかちょっと芯になって、商業関係の芯になっていただくグループみたいなのも必要なかなとも思いますね。

○松山議長 商工関係、会議に出させてもらうことも。区長も出てきてくれはると思うんですけども。今の僕らが商業関係で出させてもらうんですけども、町の商店街というのはもう本当に規模が小さくなってしまって、工業会はこんな大きいでし

よう。工場もこんなにあってというような。やっぱりちょっと引け目を感じてしまってというのかね。あまり大きいことを言っても実態がないとかね。実績がないとかいうことで。

○桑田委員　ドギーマンさんなんかは完全にモノづくりじゃなくて、どっちかと言うと販売の方が主体になっているみたいですね。

○松山議長　だから課題というか、東成で一つ、意思疎通というのをちょっと図ってみても。本当にサクラクレパスでも、地元の人には本当にいい会社で。僕なんかでもよく存じているんですけれども、知っているというだけでね。なかなか交流までいかないというのが実態でございます。いい意見ありがとうございます。

○岡本委員　今のお話ですが、北中道さんの動物の専門学校のお話ですけど、以前にかなり昔ですが、防災の視点で一度お願いに行ったことがあるんです。区役所の課長さんと一緒にです。向こうの事務長さんにお会いしていろいろ協力をお願いしたんですけれども、結局今先ほどちょっとお話出たように、ペットの問題が防災でもかなり重要視されているということで、その辺のノウハウを教えてもらいたい、あるいはその学校そのもの災害の時には解放してもらいたいという、そういう形でお願ひに行ったんです。本当に協力的で、空いてたらいつでもいいですよというお話をいただいていたんです。たまたまその近くで、今里で震災訓練をしたもんですから、その時に向こうからお二人ほどお見えになって見学に来られたんです。いろいろご説明したんです。その動物を向こうまで連れてくるのがかなり難しいでしょう。それだったらケージを、その時はかなりの量があるんで、お貸ししましょうというお話をいただいたんです。その後、そういう協力企業としての締結というんですけど、契約というそういうものまで至っていなかったんで、そのままになってしもうたんですけど。

今回防災の関係でそういったところも含めて我々検討していかないかなと。そんな風に思っているんですけどもね。そういうことで地域から行かれたら恐らく向こうは確か母体が新日本カレンダーさんやと思うんです。

○北岸委員　　そうですよね。

○岡本委員　　そちらの方から行かれたらかなり協力はしていただけると思うんですがね。

○松山議長　　今、防災でも避難所にペットを持って行けないから車でとか、あるいは倒れた家でそのまま住んでいるとかという問題がすごく大きくなっておりますよね。

○岡本委員　　その時にもう4，5年も前の話ですけども、うちの地域では一つテントを用意しまして、ペットは必ずこっちへ置いてほしいと。自分のペットが入るゲージを必ず持ってきてもらいたい。そういう約束事を決めまして、皆さんにお配りしましたんですがね、そういうところまでは行ったんですけどその後がちょっと続かなくて、そういう訓練も実際にはやっていないんですけども。

○松山議長　　なかなか難しい問題で、ペットアレルギーというものを聞いたことがあるんですけど実際見たらひどいですね、100人に一人ぐらいはおられるらしいけどね、猫が居てるだけでわかるとかね、近くに來たら皮膚がこういう具合になるとか。そういう風なのを聞いているとなかなかたくさんの方にペットを持ってくるといのは現実的にどうでしょう。現実には起こっているのは倒れかけた家で生活している、自動車で生活しているというのをこの前の九州の地震でも聞いたことがあるんですけど。なかなか越えられないところかなと思うんですけども。

○梅本委員　　その震災、昨日大分で夜の11時に地震ありましたでしょう。私、息子が大分におるからね。

小学校とか避難施設になっているけども、小学校がそんな夜中に入れるのかなど。今、日中でもかぎをかけて小学校の決まりでなっているのです。避難しようと思ってもどこから入るのか。夜中だったら。そういう細かい部分というか。

○北岸委員　　全部なっていますよ。夜中でもかぎを開けるとか、連携取れていますけど。

○梅本委員　　そういうのは、私あまり役をしていないからわかっていないからね。

実際誰が一番に行くか、というのもありますよね。

○北岸委員　それは地域でみんななっていないです。

○岡本委員　それは地域でそれぞれ皆さんで決められています。

○梅本委員　そう。それやったらそれでいいです。

○岡本委員　恐らく、訓練に参加していただいたらわかると思うんですが、その中でもみんなそれぞれ担当を決めておられましてね、かぎも恐らくどこの学校さんも複数持っておられると思います。

○梅本委員　それと予算関係、前年度より上がっているところ1カ所だけでほとんど前年度より予算が低くなっていると感じるんですよ。事業一つだけ予算が増えているけど、他のところは全面的に同じか減っている。わずかですけれども、増えているのはモノづくりを通じてという地域資源魅力発信のところぐらいで。他は活性化とか減っているんで、何でかなと。やっぱり地域活性の、こういう東成区だけではできないと思うね。やっぱり経済的にみんなが商店街にしても、今ものすごい買い控えというか、私らでもスーパーに行ったら何%引きしか買えへんような、というね。やっぱり全体でね、考えていただかないと。発信をもっとしていただかないと。この中だけでのやり取りをしても何かできないと思うし、もっと玉手箱とかイベントというのはすごくにぎわいますのでいいんですけども、実際に一つのモデル商店街でも何かつくって。そういう特徴を恒常的に。まちづくりでもありますでしょう。景観づくり。同じような景観に協力してもらおうという。家を建てたい時もこういう状況にするとかというような。そういう風な日常的に視覚とかいろいろ訴えるものがあればいいなという。その割には予算がね、前年とずっと変わらないし、かえって減っているような。40万ぐらい減っているんだけど。そういうのを考えて、本当に地域の方は個々が頑張りなさいと言われていただけで。それにかかわっている人は頑張っているなど。深江でも歴史をものすごくやってはる。案内するのですごいよかったです。それでかかわっている人はいいけども、なかなか地域全体のものになってないと思うんです。

○松山議長　　いやいや。予算に関しても関係あるんですけども、やはりこういう会で区長に提言できるぐらいの、それがまた区長が「なるほど、そうや」とやっていただいたらここの意見が直接反映されるかどうかは別として、やはり東成区をよくしたい、よくしようというのは皆さんの思っているものはみんな一緒ですので。区長はもちろんそうですからね。反映されるのは当然のことだと思っておりますので。すばらしいご意見をいただきたいと思えます。

○原課長　　予算のお話をいただいたんですけど、大阪市全体の予算の部分の中で、どうしても区役所の予算の枠というのが毎年少しずつ。

○梅本委員　　減ってるんですか。

○原課長　　減ってきていますね。そういう中で、どうしても庁舎の維持管理であるとか、区民センターの維持管理とか、そういうどうしても必要なお金がかなり占めてしまっていて、それ以外の予算で今のような事業をやっているというのが今の現状でございまして、少しずつ減っているのはそのとおりなので。

ただ、ですからと言ってそれだけで終わってしまうんじゃないに、例えば、防犯カメラであれば今回区の予算では11台ですけども、局の予算で10台設置したりもしていますし。そういうのはここに出ないんですね。それとか、今日も来られています。今里地域、深江地域は、去年の10月からまちづくり構想をつくろうという取組みを始められていまして、その予算などにつきましてもここに出ないんですが、都市計画局のまちづくり活動支援制度と申しまして、その制度を利用して地域活動を活性化していこうということで、区役所としては予算に限りがあるんですけども、大阪市全体の中で利用できる予算などは利用しながら、地域の皆さんの活動に還元というか、支援していきたいと思っております。それでもわずかですけども、少しずつ。

○松山議長　　予算というのは、本当に難しいところがあって。商店街の場合は今の監視カメラという問題では国、府、市からの助成金でもってほとんどの商店街防犯カメラが付いておりますので、全部で何百台というのが付いております、昨年だった

かな、玉造の放火も先日捕まりましたし、それから鶴橋のコンビニでも捕まったのはやはり防犯カメラからの解析で捕まったということですので、これからも防犯、それから以後の処置に関しても防犯カメラの設置というのは大きな課題になってくると思います。

他に何かご意見はございませんでしょうか。

○栗巢委員　　すみません。私初めて参加させていただいたんですけど、大成に関してはあまり大きな会社もないですし、商店街もほとんどないような状態なので、ちょっと今のところこのモノづくりとかに関してはちょっと私もはっきり把握していません。私はほとんど食事サービスに関してしていますので、ちょっとこのまちづくりとかに関しては今のところはっきりわかっていません。

○松山議長　　大成地域に関しては今日もずっと通ってきたんですけども、小学校の前の信号のところにもたくさんの方が子ども見守り隊で各信号のところにはたくさん。多分大成が一番多いのとちゃうかしらというぐらいに。

○栗巢委員　　そうですか。それはいつも来ているんですけど、なかなか。

○松山議長　　今日岡坂さんお休みですけども、月に二度、金曜日にまちを回ってありますし、今は青パトでも回ってありますし、防犯に関しては深江も多いですわね。防犯部員は。でも、先進地域の一つだと思っております。あそこから大事件が起こるというようなことは少ないと自負されていると思うんですけど。

岡本さん、災害では一番の先進地域でございますけれども、避難所運営についてちょっと教えていただきたい。他のところの避難所運営なんかは既に6地域ですか。今、もう既に終わっているというところですけども、今。

○岡本委員　　計画ですか。

○松山議長　　実際やっておられること。震災訓練9月の第1日曜日にやっておりますけれども、昔は東中本公園で全部やってました。今は各小学校地域でやっているんですけども、全部任せっきりというところがあるので、うちの鶴橋地域というのは

避難所運営というのは一番必要かなと思っている割りにあまりされていないというようなどころがあるので。今里の場合、一番重点なのはこれやとかいうお話があったら。

○岡本委員　もうみんな、重点ですけど。今やっと地域地区防災計画、全ての連合さんつくられたと思うんですが、それに基づいて順番に一つずつやっていこうということで、例年やっているんですけどもね。

組合訓練というよりもむしろ今里でめざしているのは住民の皆さんの認識をもうちょっと底上げしていきたいなということで、どんな取組みにしてもまず住民の皆さんがこっち向いてくれないことには何もできませんので。その目的でやっているような状態です。

ところが、そうは言っても毎年同じことやっていても余計横向いてしまいかねないし。ということで、地域防災計画に基づいて一つずつテーマを絞ってやっていこうということでやっているんですけども。

今年は、区内の各連合さんの災害救助部長さんをお願いをしたところですが、東成区はもうちょっと学校との連携を進めていってもらいたいと。特に中学生ですね。どこともそうだと思うんですけど、今里でも昼間人口を見てみましたらかなり若い人が多い。ところが商店街を抱えていますんで、外から来られているそういう店主、従業員を初め、お店をやっておられる方が結構いてるということで地域の事情をあまりご存じでない、そういうお店が増えてきたんですね。ですから、今商店街の会長さんをお願いしてそういった方々も含めて何とか参加してもらえんやろかということで進めていきたいと思っています。

もう一つは中学生ですが、今里ではもう既に大成さんではジュニア防災リーダーの組織化が終わられましたし、今里も今年度中には何とか組織化したいなと。そんなことで中学校と小学校をお願いをして、今進めておるところですけど。

特に、中学校については今教育委員会から、ここ3年ほどの間に防災教育をしっかりとやれという通達が出ているようで。それに基づいて学校は学校なりに一生懸命やっ

てくれているんですが、どうも地域とのつながりが少ないように思います。

行政も区役所担当で一生懸命学校支援をやっていただいていますけども、その中で地域の立ち位置と言うんですか、ちょっと見えにくいところがありましてね。ですから、もう少し地域と一緒にやってやるという方向に支援をお願いしたいなど、そのように思っております。

来年度、29年度の計画にもありますように中学校、学校支援、防災に対しての学校支援ですね。取り上げておられますけども、そこへ同時に地域の方にも支援をお願いしたいというふうに思っております。それは各校下ごとに事情がありますので、一律にこういう方法でということはいえませんが、それは各連合にお任せをして、各連合ごとに特色ある訓練をお願いしたいと言っているところです。

○松山議長　　ありがとうございます。

○岡本委員　　松山議長がおっしゃったように、数年前までは区内全部がまとまって公園に集まって、展示訓練見学して終わりというようなことだったんですけども、やはりそれぞれ地域によって特性がありますので、ただ来て見て終わりというのではなく、その地域に合った訓練をやらせてくれということで逆にこちらの方から行政の方に投げかけた経緯もありますので。私の方からはそこまでしか言えないんですけども。

○松山議長　　そうですね。展示訓練から一歩抜け出して、これからまたそれが何年も続いてきていますので、またそこから抜け出したいということですね。東成区のそれぞれの地域、随分特性が違うということで。それでも何かを参考にして、自分のところに合うような訓練をやっていかなあかんと思いますけれども。

この話の安心安全以外で市田さん何かございましたら、ご意見お願いします。

○市田委員　　今のところはあります。

○松山議長　　震災訓練で言いましたら、その北岸さんのところの北中道の700名ぐらい参加されるとかいうお話ですけど、700名と言ったらうちの東小橋小学校やった

ら入れへんのちゃうかなと思う。どういうふうな。

○北岸委員 訓練ありますよというポスター書くんです。女性部で絶えず練習しているのは500食以上の豚汁をつくることです。ポスターには避難訓練。実施する一週間ぐらい前に、イエローで大きく「豚汁も提供します」と書くんです。そうしたら、動員がすごくかかるんです。昔は、三角巾とか普通の訓練でした。でもそれでは人が集まらない。集まった時には今度はその学習が私らの課題ですけど、皆さんに知ってもらう人が集まるということです。訓練の時にね。その豚汁じゃないんですけど、そういうことで、参加をしてくれる人がたくさん集まったらそのこのところの訓練は皆さんが知るところです。

今度訓練始める時には、今度はこっち側の責任もありますよ。こんなんかっていうのじゃなしに、集まった時に大事なことを皆さんに発信するという、私らはそういうことでお手伝いしているんです。

○松山議長 小学校に動員を求めるとか、そういうものも全部入れて。

○北岸委員 そう。

○松山議長 700人と言ったら。

○北岸委員 だから町会ごとに集まる場所は、もうリーダーがいて、そこからみんな学校に動員するというものでね。みんながそこに集まって来て。

何をしようかということが一番大事ですけど、そこを皆さんに発信するのは日赤の方に来ていただいたりとかいろんな形で私らがやっていく。参加された方は今までやったらアルファ米と三角巾とお水をもらって、つまらない会議とか言うんでなしに。

○松山議長 すみません。

○北岸委員 いや、ほんまね、訓練しているんです。だからもっと違う学校内の生徒も集めて。それで生徒はここに腕章を巻いてね、「級長やで」言うことで。なら、その動員とかおにぎり作ったりする時に手伝ってもらえるとかね。もう、全部それは地域ぐるみで。

○松山議長 地域ぐるみで何年かかりました、それ。

○北岸委員 組織つくるので1年で、今度したら3年ぐらいですかね。

○松山議長 大分前に聞いている話では、どこでも多いところでも300人とかいう話は聞いていたけど、700人というのは飛び抜けているからどうしてるのかなと思って。

○北岸委員 だから、体育館には入れないから学校にも依頼して教室で町会ごとに集まってという。

○松山議長 いや、すばらしいですよ。

時間が来ましたので、次の議題でございます、その他について区役所からご説明いただきたいと思います。

○原課長 議題2の方でよろしいですか。

今日、お渡ししました資料の方ご覧ください。

まず、「東成区災害時協力企業等の登録について」というこちらの資料です。先ほどから、企業との連携のお話が幾つか出ておりますけれども、災害が起きた時にも企業に協力をぜひいただけたら、地域の方々と企業と何か結びつけられないかということで、去年の春から始めた取組みでございます。

もう一度内容を振り返りますと、1枚めくっていただくところいった制度というチラシがございますが、そこの真ん中ぐらいのところに「協力内容」というのがございます。

例えば労務・技術の提供、これは人ですね。災害が起きた時に人が助けますよという。2番目は食料品・飲料水、物を出せますよと。それから3番目は例えば工場などであればそこにあるフォークリフトとか発電機などを使えますよという。4番目はスペース、駐車場とか使ってもらっていいですよと。そういう様々なメニューを用意しまして、区役所からこういうことをやってくださいということではなしに、企業の方々と協力できる範囲で、業務に影響がない範囲、協力できる範囲で災害時に協力していただけないかというお願いをしまして、登録制度を進めてまいりました。

2 ページめくっていただいたら、今時点の登録企業の一覧表もございます。今で55社が登録していただいております。桑田金属さんをはじめ、皆さん登録していただいております。先ほど話が出ていましたドギーマンとか、それからサクラクレパスなどもスペースの提供ということで登録していただいております。

登録していただいたところには、この最後にある「東成区災害時協力企業」というイラストですけれども、白黒だとあまりよろしくないんですけども、こういったイラストを区民の方につくっていただいたんですね。これは今里新道商店街の1件ずつをイラストで描かれた神野さんという方ですけれども。

○松山議長　　これ、回します。

○原課長　　その、今里の商店街の店舗のイラストも全部描かれて、区役所の1階のふれ愛パンジーで作品展みたいなのをされたんですけども、その方の協力をいただいて、災害時協力企業のステッカーを作っていただきました。登録していただいた企業にはこのサイズよりもう少し小さめのサイズを2つお配りしているところでございます。

あと、「ひがしなりだより」もお手元にあるかと思いますが、この企業と連携した取組みということで、その登録制度進めていますということと、郵便局につきましては少し制度が違いますが協定という形で結んで、災害時に協力いただくということを昨年に取り交わしております。あわせまして開けていただくと、防災マップになっているんですけども、右の下のところに登録していただいた企業名を書いております。地図に番号ふって、どこにどういう企業があります。これは区政会議の全体会議の時に委員の方からこうした協力企業を登録していただいているのはいいけれども、ホームページとかインターネットだけではなかなかわかりにくい、紙の媒体でもこういうことを書いてくださいというご意見をいただいたので、この防災マップをつくる時に企業名を落とし込んだ次第です。

続きましてもう1点私の方から。地活協の取組みの支援ですけれども、この間各地

域ごとの交流というか意見交換会を活発に行うように努めてまいりました。資料はその後にごさいます。直近では6月9日、今月東成まちづくり交流会ということで、阪南市の箱の浦で活動されている方々にお越しいただいて意見交換を行ってきた次第です。これは周知ビラと、あとA3のいっぱい書いているのが箱の浦の方がお話いただいた時に出された資料ですけれども、交通の便が悪い、バスの便が少ないので送迎の車を運行したり、それから高齢者のランチハウスを運営したり、それから買い物にも困っているということで、毎週朝市されたりという、本当に多様な活動、自立された活動として運営されて非常に参考になっております。

その次の、これはまちづくりセンターと書いてある資料ですが、こちらは区内の交流会です。区内の各地区が集まりまして意見交換が行われました。この時は「ひがしなりだより」の配布事業についての意見交換を行った次第です。配布事業については昨年4地域の方が受託いただきましたが、こういった意見交換を通じてお互いに活動内容を知ることによって今年度から7地域に広がってきたところです。

あと、直近ということで昨年はこれ12月ですけれども、各大阪市内の他の地活協議会ともいろいろと交流を行っております。これは鶴見区の緑地域の方々をお招きして放課後いきいき事業についての取組みの意見交換を行いました。

これ以外にでも、港区であるとかいろいろな市内市外の活動されている方と区内の活動されている方の交流の場を積極的に持つことによって、お互いに刺激を受けていただきながら、地域の活動がより発展されているということを期待しまして、まちづくりセンターともども、こういうことを行っているところでございます。

○松山議長　　どうも、ありがとうございました。

○大野課長　　すみません、もう一点。ひがしなり街道玉手箱2017の開催のお知らせというチラシをご覧いただきたいんですけども、平成19年に東成新道・暗越奈良街道フォーラムということで始まりました地域の祭りですけれども、街道を中心にエリアを拡大しながら多くの方にご参加いただけるイベントに成長してまいりまして、平

成24年にひがしなり街道玉手箱という名称に変更をいたしました。地域や世代を越えた地域イベントとして開催しておりまして、今年度6回目ということでございます。

平成29年度につきましては、11月3日の金曜日から5日の日曜日までの開催とさせていただきますことになりまして、チラシにもありますように着々とイベント開催の申し出もいただいておりますのでございます。

また、毎年製作しております玉手箱グッズですけれども、今年度は皆様により身近に愛着を持っていただくということで、地域の名称入りの缶バッジ製作を検討しておりますのでございます。

イベントのコンセプトにも書かせていただいておりますけれども、歴史ある暗越奈良街道を区のシンボルと位置付けまして、イベント開催を通じて区民が地域の魅力を再発見、認識することで今後も「住み続けたいまち 東成区」を発信してまいりたいと考えておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

以上です。

○松山議長 ありがとうございます。それでは今ご説明いただきましたその他のことも含めまして、何かご意見がございましたら。

桑田委員、よろしく申し上げます。

○桑田委員 その街道玉手箱で、参加企業というか賛同企業がちょっと予定よりも少なくなった部分があるんですけれども、どうも前から同じことを繰り返して言っているんですけれども。その会計処理の部分で不明確な部分があるようなので、その辺は公表というかもっと表に堂々と出せないんですかね。

○大野課長 会計報告を連長会の方では報告させていただいているんですけれども、確かにまだまだというお声はいただいておりますので、私どもも含めまして、手を入れたいところではあるんですけれども。

実際に会計自体も実行委員会の方ですることになりますので、あくまで我々は区役所としては広報の協力というところになってしまいますので。口は出すものの、そこ

から先はちょっと実行委員会さんの方でというお話になります。

○桑田委員　それは、賛同事業として登録してそれがどういうふうに使われているかとか、そういうのは明確になっていないんでね。

○大野課長　賛同いただいた企業さんの方には、こういった街道玉手箱の、去年でしたら2016年の報告書ということで、こういうイベントをしてまいりましたということと、会計報告に最初に載っているんですけども、こういうのは送らせていただくようにはなってきています。一歩ずつ前進していっている形になるんですけども。

○桑田委員　これは賛同企業を求めに行く時に、去年度はこういうことでこういうふうになりました。そういう説明が一切なかったんだと思います。

○大野課長　協賛金を集め始めた頃に、その次の年に非常にお時間いただきましたのは聞いておりました。そこからこんな形にまとめさせていただくようにはしているんですけども。何分毎年そのリーダーと言いますか代表が変わっていくので、積み重ねがなかなかないので。その辺、我々がフォローしていくべきかなとは思っておりますけれども。

○桑田委員　それと、そのいろんな発注とかそういう部分でお金を使われている部分があるんですけども、せっかくの東成のお祭りなんで、できるだけ東成の企業に発注していただきたいなという部分もあります。ちょっとその辺もまた区役所の方でも多少見ていただくようお願いしたいなと思うんです。

○大野課長　それは十分してまいります。

○松山議長　これは東成区役所も東成を代表する一大イベントに育てようということで頑張っておられるので、普通工業会の力をお借りすればいろんなことで大きな力になるはずが、その協賛金を当初お金は出せと、口は出すなというような感じのことですよね。普通協賛金をいただく時は、町会の方でもいろんな会計決算を持って行ってこういうことをやっていますという事業をここに持ってこんなことをしたいからという趣意書を持って、すみませんけどちょっとというふうに協賛金をお願いするのを、

そういうふうではなかったということですよ。

東成区だけの人じゃなくて、あるいは東成区のグループだけじゃなくていろんなところから来ていると。それが悪いと言うのではないんですけれども、他の方にもご意見をいただきたいと思います。

もしなければ、中野会長よかったら。どんなことでも結構です。

○中野副議長　　そう、おっしゃっていただいたら何でも。

何から話をしていったらいいかというようなところでものすごく話は持っています。というのは、私たちは「まちのにぎわい」ということで今日は参加させていただいております。まちのにぎわいにおいて、防災とかまちづくりとかいろいろありまして、防災においてもまちづくりの一環であるというのは重々認識しております。その防災の話が今この時間までかかりまして、個人的に思うのは私の担当は防災ではなく、まちを売るということで、一番は住んでみたいまち、行ってみたいまちということで、自分のまちを売ろうやないかということで活動しています。

事の起こりは、私連合町会長にならせてもらってその前に町会長ということでやっております。今里さんの活動を見まして、すごいなという思いで見せていただきました。だから、私は今里さんを励みにして今日に来ております。今里さんは防災の方で重々力を出して、発揮して現在に至っております。そんなことで防災においては一歩も二歩も引けを取っておりますけれども、この面に関しましてはうちの防災担当が一生懸命頑張っております。ということで、そちらにお任せということでやっております。

私は先ほどから景観とか企業とのつながりとか、いろんな話が出ておりました聞かせてもらっております。私は地域性がありまして、深江は歴史文化ということで歴史文化に大いに力を入れている団体でございます。まちづくり活動の協議会の一環といたしまして、深江創成プロジェクトというものを立ち上げて現在総勢24名で取り組んでおります。これはまだ3年目に入ったところで、これからが正念場でございます。

というような思いでありまして、先ほど予算面という話も出ておりました。私たちは一切お金はございません。その団体が深江創成プロジェクトです。どうしてお金を工面するのかというところから始まったわけですね。お金なしで物事の活動はできませんということで知恵を絞りまして、いろんな後先になりますけれども、現在は朝市に取り組んでおります。これも深江だけの考えではなしに、先ほど原課長から話がありましたように、各地域に出向きまして勉強させていただいたり、引いてきたかということでされど勉強ということで取り組んでまいりました。そして朝市をやろうじゃないか。朝市をやるにあたってはこれは地域性がございます。私たちはこの近くじゃないに、深江は大阪市の端っこ、東成区の端っこ、何もないところでございます。ましてや、商店はございません。それからスーパーもございません。「ございませんのまち」でございます。そんなまちをどうして起こしていくんやということ。その中には買い物難民という大きなテーマが持ち上がりました。このテーマを解消するにはどうするかということで、とりあえずやってみようかな、全て模索でございます。模索から始まった深江創成プロジェクトでございます。

そういうことで予算面におきまして、じゃあどうしようかということで、区役所の知恵をいただきまして、大阪市からの支援をいただこうじゃないかということで年間わずかではございますから、私たちに助かる予算をいただいております。早速ではございますが、1年目阿倍野長屋まち歩きというのをやってきました。阿倍野の長屋はどんな活用をしているんやなということで見てきました。

今年に入りましては、鳥取県鹿野町へ景観、そして鹿野町と言えば深江と通じるものがございます。それは菅細工保存会。菅ですね。深江は菅細工保存会のまちでございます。鹿野町も菅細工保存会がございます。するとまち並み、景観の勉強ということで行ってまいりました。人はいてませんけれどもすばらしい町です。そういうことは、人が鹿野町から離れていっているわけですね。若い世代は離れていっている。じゃあこれではいかんやないかなということで、まずは景観づくり。菅を売ろうやない

ということで、いろいろな角度で活動なさっております。じゃあ深江もいずれ人はおらんようになっていくやん、違うかと。その中でも特に若い世代はなくなっていっています。

私たち活動しておりますけれども、平均年齢は70歳でございます。その70歳のメンバーがなりふり構わず頑張っております。そんなまちの中でこれから取り組んでいくというのは深江だけでは到底やっていけません。それは大阪市の力、東成の力をお借りしながらやっていきたいという思いでおります。

反面、深江創成プロジェクトは生みの親は私だけではございません。区役所の職員さんもテーマをいただきまして、このような活動に走ったわけなんです。けれども、地域の皆さんはF S P——深江創成プロジェクトは何をする団体やということで大きく不信感をいただいたというような感じもございます。不信感をいだかれてもお金をタダで使っているわけではなし、お金があるわけではなし、一切ノーマネーで活動し始めました。そして現在に至っておりますけれども、何分細々とやっている身でございまして、地域の企業からこんなことやってくれへんか、あんなことやってくれへんかということを耳にしました、やらせてもらいますよということで活動しております。そして、お礼金というものをいただいております。わずかなお礼金です。そのわずかなお礼金で我々の活動費に充てております。

というように、お金のなるところはその二つということで。じゃあ朝市は何やのと。朝市は決して利益は生んでおりません。地域に還元するという意味で頑張っております。我々が朝市を開くためには、買い物をせんといかんということで、買い物には交通費等がかさんできます。ということで、交通費におきましてはこれからはいただきなさいよというような指示を出しております。というようなことで、これから利益が上がるとすれば地域に還元していきたいなと思っております。

というようなことで、まちづくり——まちのにぎわいというのは私はまちの受け入れ態勢やと思います。防災においても、何においても受け入れ態勢が一番やないかな

と思います。だからこれは深江連合だけやなしに、今里連合、神路連合、皆さん眺めながら向こうはこないやっとなねんぞと。やっとなねんぞと。いいところ取りは必ずやっとなねんぞとと思います。対抗意識ですね。これは十分に持って頑張るのがまちづくりではないかなと思っています。

だから、皆さんわからんずくめやと思いますけれども、わからんところはよそからノウハウをいただこうということで、こないだ鹿野町へ行った時に挨拶の中で私はこう言いました。私は泥棒やでと、盗んで帰るんやということを皆さんの前で言ったところ、帰り際に岡山県からやはり勉強に来ていました4名の岡山県の行政の方でした。後から気が付くとね。そっと近づいてきて「中野さん、おもしろいこと言わはったな」と言うて。「何か大阪人らしい挨拶だったなあ」ということで、「私は盗人に来たんやぞ、泥棒に来たんやぞ」と言いながら話をして笑っていただいたというようなわけでございます。というようなことで、とりあえず隣のやっていることは盗まんとかかん。まちづくりをするなら盗まんとかかんというのが私の思いで。また、こんな説明する、こんな会合するということにはできれば首を突っ込んでそこで盗んでくるということが大事じゃないかなと思います。

時間がありませんけど、もう一つ言わせてほしいことは、東成区として今後何をしたいってほしいなということですね。今まで突拍子もないことを言うて笑われてきました。「平野川を何とかせえ」とか言うてきましたけれど、一番簡単なことは東成区には公園がたくさんあります。その公園を季節感のある花で埋めたらどうかなということを考えております。深江の南公園、全体ではないですよ、南公園の一部を向日葵畑にしたらどうやかと。児童公園には違いないですけども、向日葵畑にすることによって子どもたちが迷路をつくって遊ぶということも児童公園の一つじゃないかなと思います。初夏になれば紫陽花。紫陽花畑とか。春には桜がありますね。秋には秋桜。これも迷路になります。ということで、各公園の代表される公園に地域に一つ。2地域に一つというように公園の一部、迷路にできるぐらいの感覚で公園を活用なされた

らどうかなという思いであります。決してこういうことは大阪市には見えませんが、よその衛星都市に行ったら行政がやっているところあります。向日葵畑もやっています。というように子どもたちが迷路を楽しんでいる姿で、スタイルで親子で頑張っている姿で楽しんでいます。こんなスタイルってすばらしいんじゃないかなという眺めで見えました。ということで、井の中の蛙にならず、どうかみんな地域に出て行っていただいて目を開けて耳を開いてお勉強して東成区のまちづくりに参画していただいたらどうかなと思います。

○松山議長 貴重な意見どうもありがとうございます。

そろそろ時間ということですがけれども、どなたか最後に何か言い残したとかございませんでしょうか。

今日の意見の中ではやはり北中道の震災訓練が700名も人を集める、それが別に豚汁で集めているわけではないけれども、そこに何かヒントがあるのではなかろうかと思えます。

それとやはりサクラクレパスじゃないけれども、小さな地域だけで活用するよりも、誰でも知っている企業がたくさんあるから東成全体で何か取り上げることができないかということを感じさせていただきました。

それと、震災訓練はやはりこれから中学生にも参加していただいて、中学校校区でやっぱりやっていかなあかんという声はもう既に出ていると思いますけれども、それをやはり実際にやっていかなあかんと思いますし。今インバウンドの訪日外国人のお話はあまり出てこなかったけれども、28年度で言えば日本には2,400万人、大阪には940万人という外国の方が来ていらっしゃって、それを2020年に向けてもっとどんどんどんどん多くなるということでございますので。先ほどの700人集めるような、今まで三角巾とか、何とかやってたらあかんというのが非常にヒントになるような感じで、東成区には本当にまだインバウンドの恩恵というのは微々たるものでございますけれども、見方を変えればぎょうさん来はんねんから東成区にも来ていただいた

らいいのとちゃうかな、ちょっと知恵をみんなで絞り出したらええのとちゃうかなと
思いました。

○北岸委員　　すみません、豚汁ですけど、それは人を呼ぶためではなく女性会の食
事サービスでやっています。そういうので、たくさん物を作るという学習を餅つき
のようにするんです。それが、今度の訓練の時に活用できる。集まった時に、ここ
のところのお手伝いどなたかしてくれませんかと言ったら必ず女性の方が手を挙げて
くれる、新しい人を求めるものと思ってやっています。

○松山議長　　一つのものでもいろんな角度から見たら違うような意見が出てくるし、
すばらしいと思っております。

時間でございますので、役所の方に進行をお返ししたいと思います。

今日は皆様ありがとうございました。

○梅本委員　　一つだけいいですか。

○松山議長　　はい。

○梅本委員　　公園の中にキャンプ的にね、ベンチがコンロになったりとかそういう、
阪神・淡路とかあれ以後そういう公園をそういうような設備づくりをして、年に1回
ぐらいそこでバーベキュー大会とかいろいろやって。さっきお花というのもすごく
いいけども、そういう公園に避難所がわりの設備やとかいろいろやったら楽しいのと違
うかな。そこで、子どもへの教育です。これはどっかの市かな、こういう設備に使う
アウトドア的なのをやってるけどね。お金がかかるからこんな予算ではできないと思
うけど。一応、今お花の話でそういう施設があったなと思って。

○松山議長　　皆さん貴重な意見どうもありがとうございました。

中須賀さんよろしく申し上げます。

○中須賀課長　　スムーズな議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。
した。

以上をもちまして、本日の議事終了させていただきたいと思えます。

なお、来月 7 月 12 日、水曜日に区政会議の本会議の開催を予定しておりますので、ご出席のほどよろしく申し上げます。場所は区民センターで、時間の方は今回は 15 時、3 時からとなっておりますのでよろしく申し上げます。

それでは、これをもちまして平成 29 年度第 1 回目のにぎわい・きずな部会、終了させていただきます。ありがとうございました。